

2024 **5**
No.142



由良町
こんにちは
小新生

由良町 
こんにちは!

議会です

発行／由良町議会 発行責任者／玉置 一郎

編集／議会広報編集委員会

〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1

TEL:0738-65-1100 FAX:0738-65-0226

E-mail:gikai@town.yura.lg.jp

令和 6 年 3 月定例会

[会期] 3月7日～15日

当初予算

議案質疑

補正予算

一般質問

議員活動

令和6年3月定例会は、3月7日から15日まで9日間の会期で開かれました。
条例一部改正8件、条例廃止1件、人事1件、令和5年度補正予算3件、令和6年度当初予算6件すべて可決、同意しました。
一般質問は、8名の議員が登壇しました。

令和6年度当初予算 総額70億560万円

可決

一般会計	39億6,000万円
国民健康保険特別会計	8億4,010万円
後期高齢者医療特別会計	1億9,140万円
介護保険特別会計	7億9,900万円
水道事業会計	2億9,590万円
下水道事業会計	9億1,920万円

※今回の当初予算は、町長選挙を控えていて、1年間の行政活動にわたってすべてを予算計上するのは適当でないと判断した（新規の施策や政策的・投資的経費を極力抑え）義務的経費を中心に編成された骨格予算です。



ぴかぴかの1年生（由良小）

農林水産業費・漁港整備費 100万円

問

【三上議員】工事請負費で100万円は少ないか。

【山口議員】もっと予算をつけてほしい。

答

【坂口地域整備課長補佐】地元の意見を聞き、予算を適切に確保。

【中川参事・地域整備課長】漁港の機能的に不具合があれば予算を確保。



衣奈漁港

土木費・住宅費 2,100万円



南改良住宅

問

【森 議員】南改良住宅外壁改修工事の内容は。

答

【坂口地域整備課長補佐】長寿命化のために外壁を塗り直し、雨漏り対策のために防水工事を実施、10 棟のうち3棟を予定。

軽微な修理も需用費の修繕費で対応可能。

土木費・道路橋梁費 3,460万円

問

【三上議員】町内の道路で凹凸や白線おうとつが消えているが、道路維持管理はできているか。

答

【中川参事・地域整備課長】住民等からの通報や職員が不良個所を見つけたとき、国道や県道の場合、道路管理者に連絡し対応をお願いしている。

町道については職員が現場に出た際、道路の状態を注意しながら走っている。

白線の補修は、舗装工事をした時などに合わせて対応している。



町道維持工事（斎場付近）

総務費・総務管理費・企画費 1,385万円

問

【三好議員】総合戦略は、必ず作成しなければならないのか。

答

【岡本副町長】国の総合戦略は大きく変わってきている。
町として総合戦略は最上位計画であることから、作成のうえ進めていく必要がある。



総合戦略の表紙

問

【三好議員】町に合う計画として、具体的なことを明記してほしい。

【三上議員】年次の目標がないように思う。

年次の目標を決めた具体的な計画を作してほしい。

答

【岡本副町長】総合戦略にどこまで詳細を明記するかということは、これから考えていく。



海釣り公園

商工費・観光費

問

【三好議員】観光振興事業補助金の内容について。

答

【寺井 産業振興課長補佐兼観光推進室長】令和5年度予算と比べると観光協会への補助金450万円、ふれあい祭り実行委員会への補助金300万円は令和6年度予算へは計上していない。

民生費・社会福祉費

問

【三好議員】地域福祉センター内の浴場が寒い、空調がない。

庁舎の中で、住民福祉課や総務政策課でも検討してほしい。

答

【瀬戸総務政策課長】介護報酬のほうで利用している施設で、そちらの収益のほうで設置と考えており、予算査定で計上しない。



介護専用ストレッチャー

問

【三好議員】町長の政治判断での検討を現場を見てしてほしい。

答

【山名町長】現場を見てとは思いますが、今回は答弁を控える。

ふるさと納税 返礼品 1,820万円

問

【三上議員】返礼品はどのようなものが人気か。リピーターは多いのか。

答

【数見総務政策課長補佐】柑橘系が人気。数字までは把握できない。しかし、着実にリピーターは増えてきている。



由良町ふるさと納税 HP

教育費・学校管理費 スクールバス運行委託料 4,685万円

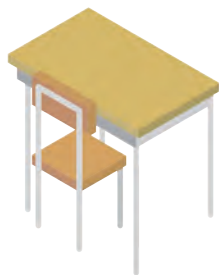


問

【岩崎議員】スクールバスの委託料について、なぜ高額になっているのか。

答

【平林教育課長】国土交通省から貸し切りバス運賃の改定があって、これに併せて予算も上がっている。



問

【山口議員】廃校舎の備品の取扱いについて。

答

【平林教育課長】統合に際して、備品は統合小学校で使えるものは利用しており、中学校でも再利用している。その中で、古いものについては随時廃棄している。

由良町観光大使

問

【野田議員】観光大使の活動が町外ばかりで、地元の人は知らない。本当に効果があるのか。

答

【寺井 産業振興課長補佐兼観光推進室長】SNSのフォロワー数が29万人いて、X(旧ツイッター)上でもPRしてくれている。

問

【山本議員】近隣では、御坊市の観光大使が目立っていると感じる。地元での活動もお願いしたい。

答

【岡崎参事・産業振興課長】観光大使については、町外でのPRが中心で外から人を呼ぶことを目的としている。



由良ゆらさん

由良町水道事業会計

問

【三上議員】配水管更新工事の今後の予定は。

答

【上田上下水道課長】今年度は中地区と大引地区の町道改良工事、そして吹井地区の県道改良工事に伴う配水管工事を行う予定。

下水道工事に伴う配水管の更新は進んだが、導水管や地区間の送水管は更新されていないので、できるだけコスト縮減を図りながら進めたい。



制御盤（里浄水場）

由良町下水道事業会計



沈澱池（由良クリーンセンター）

問

【川出議員】処理場が被災した場合の対応は。

答

【上田上下水道課長】由良クリーンセンターは、耐震基準を満たしている。

被災状況に応じ、順次応急的に復旧していく。

問

【三上議員】緊急対応工事とは。

答

【上田上下水道課長】主要なポンプ施設は発電機を設置し、停電時では自動運転。その他の施設が停電した場合は、発電機を用意する。その費用としての緊急対応工事。

問

【三好議員】駅前周辺等で家が増加した場合、下水工事は必要か。また、総務政策課を中心に駅前計画などでは、ライフラインを含めて考えてほしい。

答

【白樫上下水道課副課長】配管については駅前や門前地区は大丈夫です。ただし、駅裏（駅の南側）は、下水道管やポンプ施設の工事が必要。

人事

同意

固定資産評価審査委員会委員任期満了に伴い

上道 一郎氏（衣奈192番地の3）を選任することに同意しました。

由良町介護保険条例の一部改正

問

【三好議員】高額所得者の多段階化は全国的な措置なのか。

答

【坂本住民福祉課長】全国的なもので、高額所得者の方にご負担いただくよう国の方で改正された。



介護保険冊子

漁港管理条例の一部改正



戸津井漁港

問

【山口議員】漁業者が、漁港を利用するにあたり何が緩和されるのか。また、漁港の^{せんよう}占有許可については、どう改正されるのか。

答

【中川参事・地域整備課長】今回の法改正により、漁港内での目的外利用を緩和し、余剰な場所を利用して積極的に^{うみぎょう}海業を推進していく。

海業による占有許可については、占有できる期間が最大30年間となるものもあり、事業がやりやすくなる。

令和6年第1回臨時会 令和6年2月8日

◎由良町手数料徴収条例の一部を改正する条例

・戸籍証明書等の本籍地以外での交付(広域交付)に係る手数料を追加

◎令和5年度由良町一般会計補正予算 630万円の増額

・社会福祉施設等物価高騰対策支援金等(新型コロナウイルス臨時交付金事業)

令和5年度一般会計補正予算の概要(主なもの)

補正総額 5,380万円の減額 令和6年3月定例会 提出

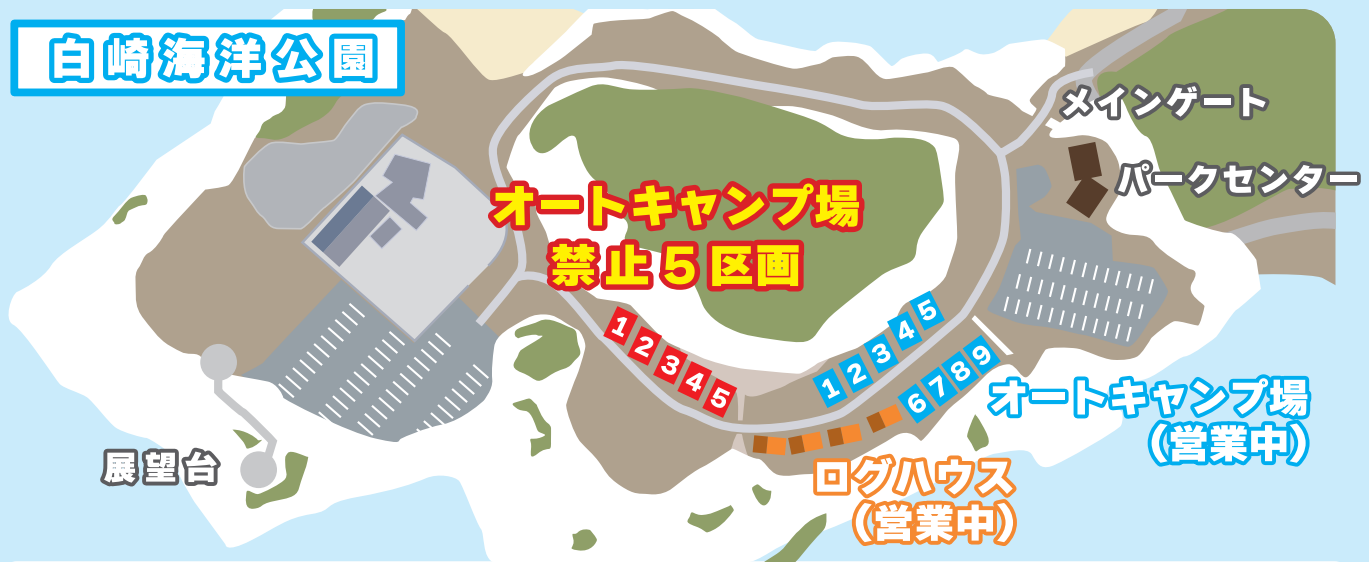
歳入

普通交付税……………1億3,600万円
 国庫支出金……………▲1,052万円
 県支出金……………▲4,643万円
 財政調整基金繰入金…▲1億4,500万円

歳出

減債基金積立金……………1,147万円
 物価高騰対応重点支援給付金給付事業……3,446万円
 白崎海洋公園指定管理委託損失補償金……600万円
 施設災害復旧事業……………▲8,680万円

白崎海洋公園



白崎海洋公園指定管理委託損失補償金 600万円

問

【岩崎議員】 損失補償金600万円は、今年度限りの予算計上なのか。

答

【寺井産業振興課長補佐兼観光推進室長】 令和5年度から白崎海洋公園の指定管理者として、スマイルプロジェクトが管理を始めたが、昨年3月と4月に落石があり、運用収益が見込まれていたオートキャンプ場5区画は現在使用禁止となり、運営できる状況ではない。検討した結果、町が、落石対策工事をするには多額の費用がかかることから、令和5年度分の損失補償金であり、令和6年度以降については改めて金額を算定し計上したい。

問

【三上議員】 指定管理期間内で来場者目標25万人、道の駅の魅力化など期待に程遠い。契約内容を検討してみては。

答

【寺井産業振興課長補佐兼観光推進室長】 落石工事が行われるまでは、補償が必要になる。令和5年度が1年目でスタートしたばかり。計画どおり事業を進めてもらい、今後4年間に期待して目標達成していただくように働きかける。

問

【山本議員】 スタートしたばかりで600万円をどのようにはじきだしたのか。また、キャンプ場は他の代替地がないのかちゃんと検討したのか。

答

【寺井産業振興課長補佐兼観光推進室長】 令和2年度と令和3年度のキャンプ場の収益の平均から、令和5年度の収益差額分を補償金と算定。代替地については、整備費用がかかることから、一旦は補償とした。

問

【三好議員】 指定管理料0円で管理運営してもらっている中で、落石という不測の事故が起こった結果、町として指定管理者と交渉し補償金600万円を損失補填するのは当然の対応である。今後、必要であれば、出してあげてもよいのでは。

答

【岡本副町長】 数億円かけ落石防止対策は、なかなか難しい。町としては、指定管理者に対して、収入は厳しいかもしれないが、一步一步、計画したことを町に対してアピールしていただきたい。



議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は、3月13日に行われ、8名の議員が登壇し、町当局の考えについて質問しました。

- 1 **3番 三好 章五 議員**P 10
山名町長が目指す今後の由良町の未来像について
- 2 **1番 山口 太志 議員**P 11
ふるさと納税について
- 3 **6番 森 三枝子 議員**P 12
1. 地震に対する家屋耐震強化について 2. 学校給食費の無償化について
- 4 **5番 野田 悟 議員**P 13
由良町の人口減少対策は
- 5 **2番 岩崎 清和 議員**P 14
高齢者福祉について
- 6 **7番 川出 純 議員**P 15
南海トラフ巨大地震への備えは
- 7 **4番 山本 大 議員**P 16
巨大地震、津波に備え、小学校移転を
- 8 **8番 三上 幸夫 議員**P 17
防災対策について



みよし しょうご
三好 章五
議員

長期総合計画的な 未来像について

議員

町の方針や未来像を長期総合計画的な観点から見ますと、少し違和感があります。

10年先や20年先を見据えたハード面では、町民待望の駅前の水洗トイレを新設しながら、今般、由良駅と周辺町づくり計画が持ち上がり、この整合性に疑問を感じる町民もあると聞きます。

また、新設される里地区内の公園建設も結構なこととは思いますが、この公園を中心とした今後のビジョンが見えてきません。

10年先や将来を見据えた計画なのか。

山名町長は、長期総合計画的な由良町の未来像について、どのようなビジョン

や方向性についての計画があるのか、多くを語っていただきたいと思いますので、ご答弁願います

町長

議員ご指摘のように、本来なら長期総合計画、都市計画マスタープラン、さらにスマートコミュニティを目標とした立地適正化計画を策定するのが必要かもしれませんが、このことについては、議員の皆さんも参画していただき、議論していかねばならないと考えています。

このような計画を策定するとなれば、相当長期の期間を要することになるのではないかと思っています。

一方、国においても、2030年までが少子化反転のラストチャンスと言われているので、

残り6年間で、どのような効果的な施策を展開するかが重要です。こうした状況の中、多くの世代から由良町が魅力あるまちとして評価いただくためにも、駅とその周辺のまちづくり、公園整備といったことは、地域の活性化につながる喫緊の課題であり、できる限り早く実現することが必要と捉えております。

「希望のあるまち」の実現に向けて、

他の質問

議員の皆さん、住民の皆さんのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

- 今後の水産業について
- 今後の農業関係について



ふるさと納税について

議員

昨年6月定例会でも少し質問をさせていただきましたが、ふるさと納税での増額に向けた対応の質問に町長は「魅力ある返礼品の拡充に努めてまいりたいと考えています。町内の事業者の皆様に対する制度の周知や新規登録の働きかけなど検討している。」と、答弁されました。

あれから半年が経過しましたが、どのように検討していただいたのか。

由良町は、令和4年度は7833万円、令和5年度は8050万円と少しの伸び率の結果になっております。

このような結果から言えることは、町税が減少する中で、ふるさと納税を増額することを考えるべきではないでしょうか。

町長

近隣市町村では、寄附額の増額に対応する専門職員を配置していると聞きます。答弁を。

ふるさと納税の魅力ある返礼品の充実を図るため、町内で養殖事業を行う事業者や地域で活躍する一般社団法人等に対して、制度の説明、新規登録の働きかけを行いました。また、観光客等の来訪者が現地で寄附が行えるような仕組みづくりにについても、議論しています。

ふるさと納税を増額することを考えるべきではないかについてですが、私も同感で、担当課に対して、指示を出しています。

また、近隣市町村の状況を見ましても、まだまだ増額の可能性はあると考えており、引き続き、前向きに取り組んでまいりたいと考えています。

一方、当町では、ふるさと納税関連の事務に専従する職員の配置は行っておりません。

これは、限られた人数で最大の効果を発揮する上で、致し方ない。

ほかの多くの自治体でも行われているように、募集や受付等の業務を外部に委

託することで、実施体制の強化に努め、効率的かつ効果的に事業を推進します。



やまぐち ふとし
山口 太志
議員



極早生みかんの王様「ゆら早生」



特産「さつき八朔」



もり みえこ
森 三枝子
議員

1 地震に対する家屋耐震強化について

議員

町内を見ますと、古い家屋が相当数あります。

由良町の補助事業には、耐震診断、耐震補強設計、耐震改修工事等がありますが、あまり使われていないように思います。

「自分の命は自分で守る」積極的な広報活動を。

町長

地震の大きな揺れの中では立っていることもできず、避難をするのには揺れが収まってからとなります。

しかし、揺れが収まるまでに耐震性が

ない建物は倒壊し、結果、大けがや死に至ってしまうことになるため、建物に耐震性を持たせることは大変重要です。

津波浸水区域に住まわれている方も、避難をするためには住宅が倒壊しないことが大前提となります。

町としては、広報誌やダイレクトメールの送付などにより、補助制度を活用した耐震対策を呼びかけておりますが、能登半島地震を教訓として、より一層広報に努めてまいりたいと考えています。

2 学校給食費の無償化について

議員

県知事が、選挙公約に掲げていました学校給食費無償化を10月から半額補助し、各自治体が残りの半額を出し、無償化を実施し、自治体にのみ補助金が出るように、ぜひ由良町でも実施を。

町長

先般、県の令和6年度新政策として、小・中学校給食費の無償化に取り組む市

町村に対して、10月から半額補助すると発表されました。

令和4年10月から令和5年2月までと、令和5年4月から令和6年2月までの期間に新型コロナウイルス感染症に係る、エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う子育て世帯支援として、学校給食費の無償化の取組は、保護者の皆様に評価していただいておりますので、適切な対応を前向きに検討していきたいと考えています。



由良町の人口減少対策は

議員

厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所作成の人口将来予測により、2050年の由良町の人口は今の半分以上の2567人と推測され、65歳以上の高齢者が50%を超えると予想されています。

人口減少問題をどのように考えられているのか、また対策は。

町長

国立社会保障・人口問題研究所が公表した人口推計と由良町総合戦略における人口目標とは、その数値が乖離しており、厳しい状況にあると認識しています。



のだ 野田 さとし 議員

現状としましては、様々な子育て施策を講じてきましたが、人口減少に歯止めがかかっている状態でないことは、ご案内のとおりであります。

次期総合戦略におきましては、議員の皆様、そして、「由良町まち・ひと・しごと創生推進協議会」委員の方々のご意見を聞きながら、継続事業であれ、新規事業であれ、効果的な事業を選定し、実行していくことが重要であると考えています。

議員

町内、すべての地域で人口が減少しているわけではありません。

増加している地域もあり、そういう地域では住宅建設用の土地供給が少しずつですが進んでいます。

早く対策を進めるためにも、事前復興計画を完成し、由良町の都市計画を変更してでも、住宅用の土地供給を可能にすることが今一番必要ではないか。

町長

由良町では、令和2年3月に由良町事前策定復興計画の全体版、いわゆる、これはたたき台となりますが、復興計画を

策定しており、現在、各地区の詳細な復興計画の策定を進めています。

都市計画の変更につきましては、事前復興計画が完成し、その計画に基づき都市計画を変更する必要があります。

事前復興計画の完成は前述のとおり、まだまだ時間を要し、現時点では都市計画変更による農地の転換等は難しいと考えます。

他の質問

○大地震に備え井戸水調査を





いわさき きよかず
岩崎 清和
議員

高齢者福祉について

議員

私のライフワークである、高齢者福祉についてお聞きします。

年々、タクシーや交通機関の減少や、高齢者の方々の免許証の返納など、老人の交通手段の無さが、ますます厳しい状況です。

近頃、全国的に話題になっているライドシェアという制度の利用や乗合タクシー、コミュニティバスなどの検討を。

とにかく由良町に住んでよかったと実感できるよう、敬老会や老人招待旅行など一つでも何か楽しめる施策の計画を。

町長

ライドシェアについては、本年4月から条件付でタクシー会社の運行管理のもと、車両不足が深刻な地域や時間帯を絞って、限定的に解禁されるとのことであり、民間事業所にも働きかけをしていきたいと考えています。

コミュニティバスの運行については、現状、その区間に路線バスが運行しており、バス会社と競合するおそれもあることから、現時点では、非常に困難であると考えています。

乗合タクシーについては、メリット・デメリットがあるかと思いますが、その必要性も含めて検討したいと思います。

敬老会や老人招待旅行は、以前のように1か所に人を集めて催しを開催するというようなことは、今のところ考えていません。

町政懇談会においても、お金をかけたものではない、別の形での開催の要望をお聞きしており、例えばですが、各区で高齢者の方を対象とした工夫を凝らした催しを企画していただき、それに対して補助をするなど考えています。

他の質問

○防犯対策について



ゲートボールを楽しむ（由良町網代地内）

南海トラフ巨大地震への備えは

議員

いつ来るかわからない南海トラフ地震対策の強化や、町内の一時避難所の整備は一部進んできましたが、安心できる避難所は、ほとんどありません。

中でも、高齢者や障害者の福祉避難所の整備が大変遅れています。

実験的にも一度開設するべきだと思います。

また、災害時の生活用水の確保、飲料水までいかなくとも、トイレや風呂用の井戸水の確保や、協力体制の構築は、今からでも進めるべきです。

そして、罹災証明書発行は、これも訓練しなければ急にできるものではありませんので、体制づくりをしていただきたい。



かわで じゅん
川出 純
議員

町長

本町では、社会福祉法人博愛会や社会福祉法人和歌山県福祉事業団、御坊日高老人福祉施設事務組合の3団体と協定を締結し、福祉避難所として、町内の3施設、町外で7施設を指定しています。

災害時には、各団体に対し、それぞれの施設を福祉避難所としての開設を要請することとなっています。

今後、福祉避難所の開設などの手順を確認した上で、各団体と共同での訓練などが実施できるように検討していきます。

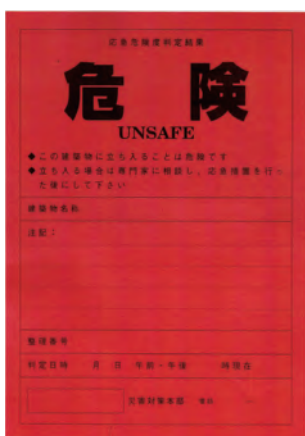
本町において、災害時の生活用水の確保などについては、南海トラフ巨大地震による避難者を想定し、1日分の飲料水1万1568リットルを備蓄しています。

また、消費期限が過ぎた飲料水についても、生活用水として使用できればとの考えから、そのまま備蓄をしています。

井戸水の確保や協力体制の構築については、前向きに検討していきたいと考えています。

本町では、罹災証明書発行のため、和歌山県が実施する住家被害認定士の研修を受講させ、その確保に取り組み、現在、

庁内では20名の認定士がおります。このたびの能登半島地震への支援として、罹災証明書発行支援を主な業務とする職員の派遣も行っていますので、当該職員が経験してきたことも踏まえ、体制づくりをさらに進めていきたいと考えています。



【応急危険度判定結果】地震により被災した建築物について、その後の余震等による倒壊や落下等による危険性を判定して、その結果を「危険（赤）」「要注意（黄）」「調査済（緑）」の判定ステッカーで表示。



やまもと だい
山本 大
議員

巨大地震、津波に備え、 小学校移転を

議員

昨年、由良町内3小学校が統合し、小学校が1校となりましたが、由良小学校は、安心、安全な場所ではなく、完全なる津波・浸水区域です。

由良小学校統合推進委員会の最終答申書の中にも、「由良小学校の校舎は、大規模改修により耐震基準を満たしているものの、耐用年数が残り少なく、津波・浸水区域にあることから、安全な場所への新築移転が必要であり、新校舎建設計画について継続的に協議を図りたい。」とあります。

由良中学校にしても、津波浸水区域であり、小学校、中学校とも安全な場所へ

同時移転させるぐらいの、ダイナミックな計画があってもいいのではないかと思います。

新校舎建設に向けて、舵を切っていただけませんか。

山名町長の考えは。

町長

由良小学校の校舎については、大規模改修により耐震基準は満たしているものの、耐用年数が近づいてきています。

現在、横浜地区での一時避難所の整備を進めているところですが、私としては、由良小学校の児童や教職員、また、その他の関係者の皆さんの一層の安心・安全のため、今後、小学校の移転について検討が必要であると認識をしています。

由良小学校統合委員会の部会のような検討する場を設けていく必要があると考えています。

議員

仮に、由良小学校の耐用年数を残り10年とした場合、残りの10年間で、10年計画のような計画を立ててはいただけないでしょうか。

町長

由良小学校統合委員会の部会のような検討する場を設けて、10年をめどに、場所やスケジュール、その他を検討して進めていきたいと考えています。



由良小学校

防災対策について

議員

災害は、私たちの都合の良い時に来てくれません。

元日から、地震、津波、火事が北陸地方を襲い、私たちは、とても他人事とは思えません。

町民の生命・財産の保護のためにも、実効ある防災、防災施設（いったん逃げ込める建物）建設が急務です。

明日の由良町にとって、たとえば悪いですが、無人の由良駅のフォーラムより、ライフラインや学校の移転地調査の計画の方が遥かに、優先順位は高いと思います。

安心・安全な町を目指すような、町長



ゆきお 幸夫 議員
みかみ 三上

の言葉は何回も聞きましたが、何ら具体化されていません。

「いったん被災すれば、公助は役に立たない」釜石の講師の、言葉が思い起こされます。

町長は、防災施設の建設になぜ着手しないのか。

町長

現在、里地区内にある「ゆら柑橘撰果場（鉄骨造り3階建て、3階部分の面積は、およそ1400平方メートル）」を避難場所や備蓄倉庫として活用していきたいと考えており、紀州農協と協議を進めているところです。

今年、日高川町の選果場への移転に伴って、選果機器が撤去される予定と聞いていますので、紀州農協の協力を得られたときには、避難所として指定したいと考えています。

このことから、議員が言われる防災施設の建設につきましては、新たに建設していくこと、また、今ある施設を活用していくことを検討した上で、整備していければと考えています。



ゆら柑橘撰果場（里地内）

1月24日 管内視察



③御坊広域清掃センター(ごみ焼却施設)



①里浄水場(浄水施設)

由良クリーンセンター・里浄水場
(由良町)

私たちの快適な暮らしを支えています。

川辺町周辺土地改良区
(日高川町)

由良町へ日高川の原水を
送水する取水ポンプ施設、
中央ポンプ施設を見学。



④御坊広域清掃センター
(廃プラスチックのリサイクル)



②由良クリーンセンター(下水処理施設)

御坊広域清掃センター
(御坊市)

マテリアルリサイクル推進施設
(廃プラスチックのリサイクル)、
ごみ焼却施設を見学。
ごみ処理の現状を確認し、
ごみ分別の重要性を感じました。

2月17日 少年議員と意見交換会



少年議員の皆さん

岡 孝之輔さん(和高専1年)

岩崎 栄人さん(由良中3年)

高橋 柚希さん(由良中3年)

里村 優奈さん(桐蔭高1年)

小山 夏生さん(由良中3年)



5名の少年議員からは、由良町の将来のま
ちづくり、町に対するイメージなど、若者の視
点でいろんな意見や提言をいただき、また交
流を深めるよい機会となりました。
今後は、少年議員の皆さんが政策を立案し
て、少年議会を開催する予定です。

議会議員町内外活動

2月22日 日高郡の全議員研修会

2月22日(木)みなべ町ふれ愛センターで開催された日高郡町議会全議員研修会に参加しました。
 弁護士、金岡宏樹氏による講演「公職選挙法と議員活動」について聴講し理解を深めました。
 講演の後、日高郡内の各議員と情報交換し、交流を深めました。



3月13日 町内視察(産建厚生常任委員会)

由良町社会福祉協議会
 ↳地域福祉の推進↳
 誰もが安心して暮らせる
 福祉のまちづくりに向けて。



由良小学校 新1年生 夢はなあ～んだ

車屋さん
しどさん

ドーナツ屋さん
さくとさん

おもちゃ屋さん
きょうさん

大工さん
さほさん

電車の運転手
やすなおさん

サッカー選手
るいさん

ショベルカーの
オペレーター
かいちろうさん

お医者さん
しおりさん

美容師さん
ふうかさん

電車の運転手
かけるさん

サッカー選手
らいむさん

飛行機を作りたい
りょうさん

ジュエリー
デザイナー
ゆりなさん

看護師さん
ひまりさん

ホテルの店長
ゆらさん

宇宙飛行士
あおさん

しまかぜの
運転手さん
かなたさん

YouTuber
みなみさん

アイスクリーム屋さん
えまさん

車屋さん
ゆうきさん

お金持ち
かいとさん

ドクターイエローの
運転手さん
そうたさん

服屋さん
りこさん

美容師さん
ていあさん

おすし屋さん
りつかさん

恐竜博士
あさひさん

アイドル
さやさん

キティちゃん
かこさん

議会広報編集委員会

委員長 三上 幸夫

副委員長 岩崎 清和

山口 太志

山本 大

川出 純

編集後記

由良町長選挙、由良町議会議員再選挙も終わり、穏やかな春を迎えています。

由良町は、由良町長、由良町議会が一丸となり、力を合わせ、今よりもっと住んでみて良かったと思える町になるよう、努力してまいります。

議会広報編集委員会では、今後もその過程を広報していきます。

(大)